

令和4年度 第2回かながわ医療通訳派遣システム事業運営委員会  
次 第

令和5年3月24日(金) 午後3時30分～4時30分  
オンライン会議システム「Zoom」開催

1. 開会

2. 議題

- (1) 令和4年度医療通訳派遣システム事業実施報告について
- (2) 令和5年度医療通訳派遣システム事業計画について
- (3) 令和5年度協定医療機関の負担金について
- (4) 協働事業者の選定について
- (5) その他

3. 閉会

<配付資料>

- |      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 資料1  | 医療通訳派遣システム事業派遣実績（年次推移）                |
| 資料2  | 令和4年度協定医療機関別医療通訳実績件数（派遣・依頼）           |
| 資料3  | 令和4年度市町村別医療通訳利用件数                     |
| 資料4  | 令和5年度医療通訳派遣システム事業計画（案）                |
| 資料5  | 令和5年度医療通訳派遣システム事業費収支予算（案）             |
| 資料6  | 医療通訳派遣システム事業の協定医療機関負担金（間接経費）の算出方法について |
| 資料7  | 令和5年度医療通訳派遣システム事業負担額（案）（協定医療機関・間接経費）  |
| 資料8  | 協働事業者の選定について（案）                       |
| 資料9  | かながわ医療通訳派遣システム事業運営委員会 協定医療機関代表        |
| 参考資料 | 医療通訳派遣システム事業運営委員会規約                   |

## 医療通訳派遣システム事業 派遣実績(年次推移)

## ○全体件数

	協定医療 機関数	実施 言語数	派遣数 (件)	月当 り(件)	通訳派遣経費(1件当たり)	
					金額(円)+税	負担者
平成14年度(H14.8~15.3)(※1)	6	5	269	22.4	3,000	県
平成15年度(※2)	6	7	692	57.7	3,000	MIC(基金21)
平成16年度(※3)	16	7	1,535	127.9	3,000	MIC(基金21)
平成17年度(※4)	16	10	1,968	164.0	3,000	MIC(基金21)
平成18年度	16	10	2,161	180.1	3,000	MIC(基金21)
平成19年度(※5)	17	10	2,928	244.0	3,000	MIC(基金21):2,000円 + 病院:1,000円
平成20年度(※6)	17	10	2,666	222.2	3,000	病院(患者)
平成21年度(※7)	17	10	2,547	212.3	3,000	病院(患者)
平成22年度	17	10	2,879	239.9	3,000	病院(患者)
平成23年度(※8)	32	10	3,112	259.3	3,000	病院(患者)
平成24年度(※9)	35	10	3,663	305.3	3,000	病院(患者)
平成25年度	35	10	4,202	350.2	3,000	病院(患者)
平成26年度	35	10	5,137	428.1	3,000	病院(患者)
平成27年度(※10)	35	11	5,820	485.0	3,000	病院(患者)
平成28年度(※11)	37	11	6,227	518.9	3,000	病院(患者)
平成29年度(※12)	36	12	5,879	489.9	3,000	病院(患者)
平成30年度(※13)	69	13	7,144	595.3	3,000	病院(患者)
令和元年度	69	13	7,767	647.3	3,000	病院(患者)
令和2年度(※14)	70	13	2,350	195.8	3,000	病院(患者)
令和3年度	70	13	4,196	349.7	3,000	病院(患者)
令和4年度(※15)	71	13	3,895	389.5	3,000	病院(患者)

- ※1 ・平成14年度(14年8月~15年3月)は「かながわ外国籍県民医療通訳サービス支援モデル事業」として実施。  
・実施言語は、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、中国語、タガログ語の5言語。
- ※2 ・平成15年度から19年度までの5年間は、かながわボランティア活動推進基金21(協働事業負担金)を活用したNPOと県との協働事業として「医療通訳派遣システム構築事業」を実施。  
・実施言語にタイ語、英語を追加し、7言語に拡大。
- ※3 ・平成16年度に次の観点から16病院に拡大。①二次保健医療圏(11圏域)ごとに各1病院ずつ配置、②外国籍県民人員数の対人口比率が県平均1.64%(又は2%)を超える医療圏には1病院ずつ加配、③県立の専門病院(こども医療センター、循環器呼吸器病センター)を加えた。
- ※4 ・平成17年度から実施言語にインドシナ3言語(ベトナム語、ラオス語、カンボジア語)を追加し、10言語に拡大。
- ※5 ・平成19年度からは17病院(済生会神奈川県病院の再編整備に伴い新たに済生会横浜市東部病院が協力病院となった)。
- ※6 ・平成20年度は「医療通訳派遣システム事業」(県負担金事業)としてNPOと協働運営。
- ※7 ・平成21年度は本事業に賛同し負担金を支出する19市町及び県を構成員とする新たな協議会(かながわ医療通訳派遣システム自治体推進協議会)を設置して、NPOと協働運営。
- ※8 ・平成23年度に次の観点から32病院に拡大。①二次保健医療圏(11圏域)ごとに各1病院ずつ配置、②外国籍県民人員数の対人口比率が県平均1.94%を超える医療圏には1病院ずつ加配、③県立の専門病院(がんセンター、精神医療センター)を追加。病院の選考にあたっては、派遣実績の多い診療科(産婦人科、内科、小児科)、地域バランス、市町村からの拡大要望医療機関に配慮。
- ※9 ・※8の方針にしたがって、医療機関を35病院に拡大。
- ※10 ・平成27年度から実施言語にロシア語を追加し、11言語に拡大。
- ※11 ・医療機関を37病院に拡大。
- ※12 ・医療機関統合のため、36病院。(七沢リハビリテーション病院が神奈川リハビリテーションに統合)  
・平成29年度からフランス語を追加し、12言語に拡大。
- ※13 ・医療機関を69病院に拡大。  
・平成30年度の養成研修より、ネパール語を追加。
- ※14 ・医療機関を70病院に拡大。2年度以降は、遠隔通訳の件数も含む。
- ※15 ・医療機関を71病院に拡大。4~1月の実績